



TELE
WORKING

テレワークで

社長、こんな
経験はございませんか？

「識学式テレワークのススメ」

株式会社P-UP World



やたらと 経過が気になる上司



錯覚

社員が通常勤務と同じように、サボらず勤務しているかがやたら気になって、モニター越しに常に監視をしている

必要以上にアドバイスを繰り返す

事細かく途中の作業に関して報告を求めすぎている

事実

経過に介入する事で社員は頑張りアピール集団になっていく

上司の言われている通りやっていけば

結果の質が悪くても問題ないという錯覚を起こす



補償してくれて 当然 という錯覚

錯覚

会社が在宅を命じているのだから
生産性を上げられなくても給与は補償されると錯覚
会社の方針に対して不平・不満を言って良い

事実

有益性を発揮することで対価として給与が発生する
決められたルールを守るという位置に社員は存在している

モチベーションを

維持

しようとする上司



錯覚

- 在宅で社員の**ストレスが溜まっているから**、オンラインで飲み会を実施しなければいけない
- **業務以外にレクリエーション**を実施しなければいけない

事実

- 上司と部下の距離が近くなる事で、部下は「**結果の質が低くても、●●上司なら理解してくれる**」などと錯覚
- 上司は、部下の生産性が低くても「**飲み会で積極的に参加しているから今は評価を下げる事が出来ない**」などと錯覚

結論

出社も在宅も

何も変わらない

ということ



錯覚

- 在宅だから、多少生産性が下がっても仕方がない
- 家にいるのだから、会社のルールを守る必要はない
- 在宅勤務は違う目標設定をしなければいけない

事実

- 会社のルールを守る事は当然
- 手段が変わっただけであり、求められる結果は何一つ変わっていない
- 上司部下双方が結果のみが評価されるという事実を認識する必要がある



P-UP World

PROFILE

株式会社 P-UP World

設立：1998年11月24日

本社：東京都足立区千住1-4-1 東京芸術センター 11F

事業内容：電気通信機器及びその他付属関連商品の販売

英会話スクール・幼児教育・民間型学童保育

飲食事業

モータースポーツ事業

組織コンサルティング事業

フィットネス事業 etc...

資本金：1億円（発行済株式数 10,254株）

売上高：483億円（2019年2月28日現在）

総店舗数：226店舗

代表：中込 正典

社員数：合計1094名（社員および臨時雇用者、派遣社員を含む）

※2019年2月時点



講師紹介

大熊 憲二

株式会社P-UP World
執行役員 兼 識学シニア講師

2011年入社 ソフトバンク事業部に配属となり、史上最速の9ヵ月でマネージャーに昇進し、店舗拡大に貢献。

2014年モバイル事業部移動となり、業界全体が縮小傾向で低迷する中、200坪以上の超大型店等の新規出店に従事。

2016年に識学と出会い、識学に基づくマネジメントを徹底し、モバイル事業統括として史上初の年間目標完全達成を記録。

自身の経験を生かし、コンサルティング事業部長兼識学認定講師として現在に至る。

テレワーク、正しく
導入するなら“識学式”で!!

少しでも気になった方は
ぜひ、無料デモ体験へ!



お問い合わせはこちら

